

NanoTerasu センターセミナー 実施レポート

タイトル 大型実験施設のゆるめなアウトリーチ

～その一例としての「ひっぐすたん」～

講師 ひっぐすたん (Higgstan.com) 秋本祐希

開催日時 2025年9月12日(金) 13:45- ハイブリッド

NanoTerasu のように建設・運営費用が大きい研究施設においては、最先端の研究成果を生み出すことに加え、一般社会とのつながりを築くアウトリーチ活動が重要な意味を持ちます。

第2回 NanoTerasu センターセミナーでは、「素粒子はかわいい」を合言葉に科学の魅力を発信するウェブサイト「ひっぐすたん (higgstan.com)」を主宰する科学コミュニケーター秋本祐希氏を講師にお招きしました。秋本氏には、専門外の方々に向けて研究内容を歪めることなく、どのように科学への関心を引き出そうとしてきたかお話しいただきました。

秋本氏は、難しげな素粒子の性質や実験装置の特徴をうまくキャラクターの性格に取り入れ、かわいいイラストとして表現し科学を親しみやすく伝える工夫についてご紹介いただきました。さらに、キャラクターができればマンガを描け、さらにアニメを作れ、ぬいぐるみを作れ、ぬい活ができ、動画まで制作できる—といった、科学コミュニケーションの可能性を広げる活動の一端もご紹介いただきました。従来の広報記事や施設見学対応におけるアウトリーチ活動に役立つヒントを得ることができました。

「発信のための取材において、何を大事にしていますか？」という質問には、「どんなにかみ砕いて説明しても、物理的に間違いがないように気をつけています」とご回答いただきました。また、途切れることなく続いた多くの質問にも、一つひとつ丁寧に答えいただき、科学コミュニケーションへの真摯な姿勢をも学ぶことができました。

セミナーはハイブリッド形式で開催され、オンサイトの部は NanoTerasu 実験ホールの BL11W 建設予定地近くに設営した簡易会場で行われました。参加者はオンサイトとオンラインを合わせて約 50 名でした。

